

〔 横浜能楽堂 〕
令和 1 年度（平成 31 年度） 業務報告書
〔 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

I 施設の概要

施設名	横浜能楽堂
所在地	横浜市西区紅葉ヶ丘 27-2
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 2 階建
敷地・延床面積	建築面積 1,770.81㎡ 延床面積 5,695.93㎡
開館日	平成 8 年 6 月 28 日

II 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 番地
代表者	理事長 近藤 誠一
設立年月日	平成 3 年 7 月 10 日
指定期間	平成 29 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

III 指定管理に係る業務方針

1 基本的な方針の総括

第 3 期指定管理の経営方針として、「文化事業」においては『質の高い事業の実施、古典芸能の専門文化施設としてのブランドの確立』『子どもを対象とした事業の強化』を、「施設運営」においては『新規顧客開拓と利用率の向上』を、「施設管理」においては『老朽化に対する取り組みや利用者ニーズに応じた対応』を掲げました。これらの方針を実現するために、『人材の確保と育成』『経営資源の適切な配分と外部資金の活用』を図っています。

第 3 期 3 年目となる平成 31（令和 1）年度は、「施設管理」では業務を確実に実行し、利用者の安全、安心の確保に取り組みました。「施設運営」では昨年度から始めた利用促進のための各種割引制度の広報や近隣との連携強化を専任のチームリーダーを中心に推進しました。「文化事業」では「大典 奉祝の芸能」や「東次郎家伝十二番」など企画性が高く、横浜能楽堂ならではの公演で能楽ファンの期待に応えるとともに、オープンデーや「紅葉ヶ丘まいらん」など初来

館者を増やす事業も実施しました。

2 平成 31 年度の業務の方針及び達成目標の総括

【全体業務について】

第 3 期指定管理事業計画の提案内容の達成に向けて取組を進めました。

1 施設管理について

開館 24 年目となり、経年劣化による不具合や故障が発生し、施設の運営に関わりかねない事案も懸念されています。その中で問題の早期発見と適切な対応を行いました。利用者、来館者、出演者の皆様が安全、安心、快適に利用できるように努めました。

2 施設運営について

施設の認知度を上げ来館や利用の促進を図るために、今年度新たにチームリーダーを配置し、様々な施策を行った結果、MICE、ユニークベニューによる利用も実現し、多くの外国人の方に横浜能楽堂の魅力に触れていただきました。

一方で、9 月、10 月の台風接近、2 月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の施設運営が不可となるなど、厳しい状況が続きました。施設利用状況もこのような社会情勢を反映した結果となっています。

3 文化事業について

企画公演「東次郎家伝十二番」（12 回シリーズ）、新天皇即位に際し、皇室ゆかりの多彩な芸能を披露する特別企画公演「大典 奉祝の芸能」（2 回シリーズ）など、横浜能楽堂ならではの企画は大きな反響を呼びました。普及公演、企画公演ともに、実施した公演の多くが完売となりました。施設見学会付きの和のワークショップも種類、回数を増やし、能楽ファン以外のお客様にも楽しんでいただくことができました。夏に実施した「1 日オープンデー」や、近隣の 5 つの文化施設によるネットワーク「紅葉ヶ丘まいらん」での企画など新企画も生まれています。

2 月下旬から公演やワークショップの中止が続き、施設運営同様に厳しい状況が続きました。

4 収支について

台風 19 号による公演中止（1 公演）や新型コロナウイルス感染拡大防止のため公演中止（4 公演）及び施設閉館等、収支上も想定外の事象の相次いだ年度でしたが、実施できた公演の券売好調や職員人件費の減（超勤抑制等）、また光熱費の抑制（エネルギー単価の減）等により収支については当初予算よりも改善し、5,731 千円の収支差額が発生しました。なお、この金額には財団職員の人事異動により当初予算より 3,031 千円職員人件費が減少している分を含んでいます。このため施設運営の実質的な収支差額は 2,700 千円となります。

IV 業務の取組と達成指標

1 施設管理

(1) 施設及び設備の維持保全及び管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全に努めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、日々の保守管理・維持保全を実行しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①文化財（能舞台）の適切な保護</p> <p>②中長期的な視点による総合的な施設（建築物）、建築設備、舞台設備、備品等の保守管理の遂行</p> <p>③清掃、廃棄物処理及び環境への配慮等、植栽管理業務等の環境維持管理業務の実施</p> <p>④駐車場管理業務の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日々の手入れと点検を実施し、必要に応じて専門業者による管理・メンテナンスを行います。</p> <p>■職員および施設管理委託者による毎日の巡回と目視点検により不具合の早期発見に努めます。</p> <p>■施設利用後の速やかな点検の実施</p> <p>■台風・大雨後の巡回点検強化</p> <p>■建物設備管理に起因する過失事故0件</p> <p>□アンケート 快適評価4.0</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■横浜市有形文化財の認定を受けた貴重な文化財である能舞台を業務の基準に記されているとおり適切に管理しました。</p> <p>（主な事例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化/消耗の進行した非常照明器具やバッテリーの置換 ・防火シャッター保守点検のために必要となる点検口新設工事（鏡の間） <p>■定期的な巡回のほか、利用後の状態確認を職員が行い、不具合発見時は報告書を作成すると共に迅速にスタッフ内で共有しています。</p> <p>■施設利用後、職員点検を行った後に警備員が最終巡回を行い、施錠等安全確認を徹底しました。</p> <p>■台風・大雨後は速やかに点検し、状況を市に報告しました。令和1年10月の台風19号についても事前事後の巡回を強化する等適切に対応しました。</p> <p>■0件 業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。</p> <p>□快適評価 4.4 来場者全員にアンケート用</p>

	<p>■環境維持管理に起因する過失事故0件</p> <p>□駐車場の保守点検年2回以上</p> <p>■駐車場および車両に起因する過失事故0件</p> <p>□備品（収蔵庫）管理 害虫駆除年2回以上</p> <p>□植栽管理 年2回以上</p>	<p>紙を配布し、協力を求めています。項目は①性別、②年齢、③居住地、④公演情報入手、⑤鑑賞動機、⑥能・狂言の鑑賞回数、⑦今回の公演について、⑧スタッフ対応・サービス、⑨施設の快適性、⑩今後取り組みたい文化活動、⑪意見・希望、の11項目。</p> <p>[主なご意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレへの洗浄器設置要望 ・本舞台見所椅子の改善要望（傾斜、振動等） ・公演当日のチケット販売動線の改善要望 ・公演マナーに関する声掛け要望 <p>■0件 業務の基準に示された内容を遵守し適切な管理を行いました。</p> <p>□9/9、3/31 実施 業務の基準に基づき適切に管理しました。</p> <p>■0件 車で来館されるお客様がスムーズかつ安全に利用できるよう警備員と協力して対応しました。</p> <p>□6/10、12/9 実施 貴重な装束や能面等の収蔵品をカビや害虫から守るため、業務の基準に基づき温湿度及び塵芥管理と害虫駆除を行いました。</p> <p>■2/17 に収蔵庫のパッケージエアコンの更新を実施しました（工事主体:横浜市）。</p> <p>□6/19、7/16-19、10/15-18、</p>
--	--	---

		1/15-16 計4回実施。 除草・剪定・刈込業務及び薬剤散布実施にあたっては、近隣住民と十分な調整のもと行い、周辺環境と調和するた たずまいを保つよう管理を行いました。
--	--	---

(2) 小破修繕への取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、日常点検を行い問題箇所迅速に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、日常点検と問題箇所対応を迅速に実施しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①日常の管理・毎月の点検における不具合・不調箇所を発見し、早期の小破修繕等の対応</p> <p>②利用者の安全に関わる事案への最優先対応</p> <p>③不具合箇所等の市への報告による情報共有の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■日常の巡回点検、毎月実施する定期点検の中で不具合・不調箇所の早期に発見に努め、部品交換や小破修繕を行います。</p> <p>■故障、不具合については速やかに横浜市と共有します。</p> <p>■問題箇所については施設管理チームから助言をもらい対応します。</p> <p>■修繕を検討すべき不調箇所はモニタリングを通じて横浜市と情報共有と対応・相談を行います</p> <p>■利用者の安全に関わる事案については、直ちに横浜市に報告し対応を協議します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■経年劣化による不具合は避けられませんが、日常の管理、毎月の点検で、早期発見と適切な対応に努めました。</p> <p>■モニタリング時に修繕一覧を作成し提出しました。</p> <p>■不具合については報告書を作成し、施設管理チームと情報を共有し技術的なアドバイスや他施設の類似事例に基づくアドバイス等を受けました。</p> <p>■モニタリング時に情報を共有したほか、重要案件については発生後速やかに情報共有しました。</p> <p>■加圧給水ポンプの不具合などが発生しました。横浜市への速やかな報告と、復旧対応を実施しました。</p>

(3) 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p>
--

業務の基準に従い、適切に対応しました。9月、10月の台風接近と鉄道計画運休、2月中旬からの新型コロナウイルス感染症拡大など前例のない困難に直面しましたが、利用者、観客、出演者、職員の健康と安全の確保を最優先に行動しました。

<p>[取組内容]</p> <p>①各種事故等対応マニュアルの運用、整備</p> <p>②事故防止策、緊急時（防犯）対応</p> <p>③感染症対策等衛生管理の方針の策定</p> <p>④緊急時の連絡体制、防災に対する取組</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各種マニュアルを整備し備え置きます。</p> <p>■職員、補助職員、委託業者（清掃員）による施設内巡回等による速やかな対応を行います。</p> <p>■緊急連絡網を作成し連絡体制を構築します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■危機管理マニュアルを作成し館内で共有しました。</p> <p>■巡回のほか監視カメラ、機器モニタリングにより危険や不審者、要救護者を早期に発見できるよう注意を行いました。また、利用状況に合わせたこまめな施設管理などにより事故防止と防犯に努めました。</p> <p>■館内の緊急連絡網を作成し職員全員が携帯、夜間、休日問わず速やかに報告・連絡・相談できる体制を整えました。本連絡網は市にも提出、情報を共有しました。</p> <p>■9/8台風15号接近による開館時間の短縮、10/12台風19号直撃に伴う計画運休により主催公演（10/13 横浜狂言堂）中止等の対応が必要となりましたが、横浜市や財団事務局等と連携の上、適切に対応しました。</p> <p>■令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、主催4公演の中止、貸館利用キャンセル、開館時間の短縮等、前例のない事例が相次ぎ発生しています。都度、各所と連携し、来館者、利用者にも不測の事態が発生しないように努めました。</p>
---	---	--

(4) 防災に対する取組

<p>[目指す成果] 業務の基準に従い、適切に対応します。</p> <p>[成果についての振り返り] 業務の基準に従い、適切に対応しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各危機管理マニュアルの整備及びそれに基づく訓練の実施</p> <p>②消防訓練（年2回実施）</p> <p>③指定管理者本部からの情報提供</p> <p>④外国人来場者への案内</p> <p>⑤延命講習の受講</p> <p>⑥汚物処理研修</p> <p>⑦救急時の医療機関への搬送</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/>消防訓練（避難誘導訓練を含む） 年2回実施</p> <p><input type="checkbox"/>消防設備の取扱研修 年2回実施</p> <p>■外国人来館者・障がい者の避難誘導を、消防訓練で実施します。</p> <p>■消防訓練をより実際に則した状況で実施します。</p> <p><input type="checkbox"/>普通救命講習1を全職員が受講済とします。</p> <p><input type="checkbox"/>ノロウイルス対応等研修年1回以上</p> <p>■救急時は救急医療機関を紹介、搬送の手配をします。また、事務室及びチケットブースで近隣の診療所や救急相談センターの情報等を共有します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/>5/2、1/27 実施 危機管理マニュアルに基づいた訓練を行いました。</p> <p><input type="checkbox"/>5/20、1/27 実施 消防訓練実施時に合わせ、水消火器による消火器取扱い実習（5/20）、消火栓取扱い実習（1/27）、防災放送設備研修（5/20、1/27）を実施しました。</p> <p>■未実施。来年度実施します。</p> <p>■西消防署に訓練立ち合いを依頼し、訓練を実施しました。（5/20、1/27）</p> <p><input type="checkbox"/>全職員が受講済 6/28 新配属職員2名が新規講習を受講しました。</p> <p><input type="checkbox"/>1/27 ノロウイルス対応研修を実施しました。</p> <p>■救急搬送発生の際には職員が病院まで同行しご家族に引継ぐことを基本対応としました。</p>

2 施設運営

(1) 能楽等の公演、稽古、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[目指す成果] 第3期指定管理提案における施設利用率及び利用料金収入の達成に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り] 30年度からスタートした貸館利用促進の取り組み（初めて割ほか）を更に進めたことで、実績が</p>
--

出ています。ユニークベニュー、MICE として海外の団体客の受け入れも実現しました。受付・チケット販売窓口営業時間を短縮すると同時に、チケット販売にシステムを導入し、チケットの一括管理に移行しました。

2月中旬以降は新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館を余儀なくされ、貸館利用率や利用料金収入は目標に達しませんでした。

<p>[取組内容]</p> <p>①適切な施設の提供、運用</p> <p>②貸館の利用率が高まる工夫による施設の利用促進</p> <p>③新規の利用者を増やすための工夫</p> <p>④指定期間における利用料金収入、利用率の考え方、利用率の達成</p> <p>⑤貸館、舞台の適切な運営体制の整備</p> <p>⑥要望・苦情への対応、職員における共有</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□開館時間：午前9時～午後10時</p> <p>受付・チケット販売：窓口 午前9時～午後6時</p> <p>ウェブサイト 24時間</p> <p>窓口利用のない時間帯を短縮し補助員2名で対応、チケット管理をシステムに一元化することで、より買いやすい環境を整えます。</p> <p>貸館受付：午前9時～午後10時</p> <p>■利用料金の設定：現行の利用料金体系を継続</p> <p>教育機関の貸館利用については半額減免制度を設けます。</p> <p>■受付方法：横浜市能楽堂条例施行規則に則り、能狂言とそれ以外の古典芸能で受付開始日を変えて受付します。</p> <p>■支払方法：現金、振込、郵便局払込で収受します。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□利用者から開館時間前後の利用要望はなく、指標どおりに施設を提供しました。</p> <p>■今年度より受付・チケット販売窓口の営業時間を午前9時～午後6時（従前は午後8時まで）に変更しました。事前周知に努めた結果、特に問題は生じておりません。</p> <p>・窓口でもチケットシステムを使用するにあたり、一括管理研修（5月、1月）やOJTを実施しました。</p> <p>■横浜市能楽堂条例及び同施行規則に規定される横浜市内の教育機関のほか、市外・県内外の教育機関の利用を促し、適切に運用しました。教育機関の半額減免制度による学校鑑賞会の利用3件</p> <p>■本舞台について、能・狂言に関する利用受付開始は2か月前の第2日曜日、それ以外は12か月前の第2日曜日とし、能・狂言の優先利用を促しました。</p> <p>■達成指標のとおり実施しました。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の貸館については利用をキャンセルまたは延期していただくよう努めました。既納料金についてはこの期間は全額返金</p>
--	--	---

	<p>■古典芸能鑑賞会、施設見学会等について学校や旅行代理店にプランを提案します。</p> <p>□アプローチ件数 15 件、商談件数 3 件</p> <p>■利用案内の DM を送付し貸館の周知を行います。</p> <p>□利用案内 DM 送付 過去施設利用者 50 件、近隣住民 2 回/年 横浜能楽堂顧客名簿に基づく個人 3,000 件 大学能楽サークル 10 件</p> <p>■初めての朝割、初めての U25 割 (25 歳以下)、応援割 (ワークショップ修了者) を実施します。</p> <p>□利用料金収入 16,400 千円</p> <p>□施設目標利用率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本舞台 (日) 44% ・第二舞台 63% ・研修室 1・2 33%、 ・研修室 3・4 49% <p>※研修室は新たな算定区分にて計算します。</p> <p>□開館時の運営体制：1 階補助職員 2 名以上、事務室</p>	<p>しました。</p> <p>□アプローチ件数は、ユニークベニュー 8 件 (うち 2 件成約)、新規施設利用 8 件の計 16 件。商談件数は、国際会議運営会社、旅行代理店など計 5 件。</p> <p>□予約システムの破損により過去データが消失したため、過去施設利用者への DM 送付は未実施。代わりに「初めての教室」と「おとな狂言 WS」参加者 (75 名) に割引制度案内を配布。近隣マンションへのチラシを配布は 3 回実施。個人宛の DM は全 5 回 6,762 通送付。新規として市内の映画館の会員向け DM に同封し、新たな層へのアプローチを行いました。</p> <p>■「初めての朝割」は 4 件、「応援割」は 7 件の利用がありました。利用実績のない「初めての U25 割」については広報のため、チラシを県内、市内の高校計 239 校に送付し、神奈川高等学校総合文化祭日本音楽発表会会場で参加校に配布しました。</p> <p>□収入実績 14,684 千円</p> <p>□施設利用率実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本舞台 (日) 38% ・第二舞台 51% ・研修室 1・2 32% ・研修室 3・4 39% <p>□1 階受付は補助職員を常時 2 名、事務室職員は常時 2 名以上になるようシフトを</p>
--	--	---

	<p>職員 2 名以上</p> <p>□本舞台利用時の運営体制： 舞台技術者による対応</p> <p>□本舞台における公演・発表会の開催時の運営体制：補助職員 2 名～4 名を増員</p> <p>■事務室の職員全員が貸館に対応できるよう、マニュアルを備え置きます。</p> <p>■貸館の手引きを備え置きし、利用者に施設利用に関する情報をわかりやすく伝えます。</p> <p>■スタッフのノウハウを活用した『利用者サポート』（公演事前準備支援、公演等制作支援、稽古場探し支援）を実施します。</p> <p>■能楽以外のご利用に際し、能舞台に固有の利用についてのサポート、当日支援を貸館チーム中心に行います。</p>	<p>組み、貸館に対応しました。</p> <p>□本舞台利用時は舞台技術者 1 名を配置しました。</p> <p>□達成指標どおり実施しました。本舞台で公演、発表会を開催する際は、緊急時の避難誘導など安全を確保するため補助職員を適宜増員しました。</p> <p>■マニュアルを全職員で共有しました。</p> <p>■達成指標とおりに実施しました。利用者との打合せにきめ細かく対応し、必要な情報は館内で共有しました。</p> <p>■横浜音祭り「藤原道山尺八アンサンブル風雅竹韻」にカルチャースタッフを配置（有料）（10 月）、沖縄芸能保存会に運営アドバイス（11 月）、にぎわい座公演（調整 5 月、実施 3 月）、能楽協会エッセンス能（バリアフリー事業）への協力（7 月実施）、レセプション利用下見（4～11 月）、AUN 邦楽器アンサンブルコンサート会場検討（7 月）、能楽連盟総会・理事会参加（4、6、10、12 月）、第二舞台の日本舞踊名取式（4 月）、ひとり語りと尺八演奏（11 月）、箏曲発表会（11 月、）落語での利用相談（11 月実施）、にぎわい座公演協力（3 月）</p> <p>■能楽師広告用写真撮影（8 月第二舞台）、映画撮影雨天時バックアップ（11 月）、日本舞踊家 PV 撮影（1 月）、横浜市 PR 動画撮影相談（6 月～2 月）、</p>
--	---	--

	<p>■毎月発行の催し物案内広報物「橋がかり」へ本舞台・第二舞台の公演・発表会等の情報を掲載し、貸館催事の広報に協力します。</p> <p>■公演ごとに実施するアンケートを分析し、お客様の要望・苦情を把握し対応します。</p> <p>■アンケート回収率の向上のための工夫を行います。</p> <p>□アンケート回収率 目標 14.5%</p> <p>■必要に応じ財団事務局、横浜市と情報共有します。</p> <p>■クレームについてレポートを作成し職員間で共有します。</p>	<p>(1月)、落語利用相談・にぎわい座を紹介</p> <p>■毎月定期的に「橋がかり」を発行し(10,000部)、本舞台・第二舞台の公演・発表会等の貸館情報を掲載しました。</p> <p>■回収したアンケートについて館内で共有・対応すると共に、主な内容についてはモニタリングの際に横浜市と共有しました。</p> <p>■アンケート回答者対象に抽選でオリジナルグッズや招待券を贈呈</p> <p>□回収実績 14.7%</p> <p>■内容に応じてモニタリングで横浜市に報告しました。事務局共有案件はありませんでした。</p> <p>■各種ご意見について全体会議で報告し、原因や今後の対応等について共有しました。</p>
--	--	--

(2) 利用促進及びサービスの向上

<p>[目指す成果] 新たなプロモーションへの取り組みを継続し、お客様の満足度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 新規、若い世代の利用促進を図るため、個人へのダイレクトメールなどに加え、高校文化祭でのPRや他ジャンル施設(映画)友の会へのアプローチなどを実施しました。SNSによる情報発信やショップ経営など、来館の楽しみを広げるサービスにも引き続き取り組みました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①各貸出施設の利用促進に対する取組み及びプロモーション</p> <p>②お客様からの意見箱の設置及び対応によるサービスの向上</p> <p>③物販サービスの実施</p> <p>④来館者及び外国人観光客に向けたWi-Fi用アクセスポイントの</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■各室について稽古利用ができることをSNSやちらしで周知します。</p> <p>□利用案内DM送付(再掲) 過去施設利用者50件、近隣住民2回/年 横浜能楽堂顧客名簿に基</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■TwitterとFacebookで稽古の会の発表会について広報しました。</p> <p>□過去施設利用者へのDM送付は未実施。近隣マンションへのチラシを配布は3回実施。個人宛のDMは全5回</p>

<p>設置</p>	<p>づく個人 3,000 件 大学能楽サークル 10 件</p> <p>■Twitter や WEB ページを活用し貸館情報、利用紹介や案内を告知します。</p> <p>■Facebook の特性を活かし画像や映像といっしょに事業の紹介を行います。</p> <p>■WEB サイトのアクセシビリティ化・スマートフォンでのアクセスに対してレスポンス化を実現し、だれでもが快適にアクセスできる環境を整え、持続させます。</p> <p>■サイトデザインについて、アクセシビリティを考慮したデザインにします。</p> <p>■本舞台の 1 時間単位での貸出の PR</p> <p>■WEB ページでの施設空き状況の情報提供の検討</p>	<p>6,762 通送付。新規として市内の映画館の会員向け DM に同封し、新たな層へのアプローチを行いました。</p> <p>U25 割チラシを県内、市内の高校計 239 校に送付し、神奈川県高等学校総合文化祭日本音楽発表会では参加校に配布しました。</p> <p>■達成指標のとおり実施しました。</p> <p>■季節のお知らせや無料で参加できる催事のご案内など画像を交えて掲載しました。</p> <p>■ブログも年間 14 回掲載しました。8 月までインターンで滞在していたギリシャ人青年の演劇論（連載）やワークショップの様子について掲載しました。</p> <p>■WEB サイト、スマホサイトを継続して実施しました。</p> <p>■ウェブアクセシビリティ指標に沿い、見やすさ、読みやすさとサイトデザインの共立を図りました。</p> <p>■貸出方法について検討を進めている段階で、来年度本格スタートし、広報も行います。</p> <p>■WEB への情報アップタイミングや手続き、予約システムとの連動など解決すべき課題が多くあるため、引き続き</p>
-----------	---	---

	<p>■撮影利用、アフターコンベンション等の利用希望への積極的な対応</p> <p>■公演利用者への付加サービスの提供の具体内容検討</p> <p>■初めての朝割、初めてのU25割（25歳以下）、応援割（ワークショップ修了者）を実施します。（再掲）</p> <p>■2階レストランスペースでの打ち上げ、昼食利用等の提案</p> <p>□意見箱の設置 ロビー1カ所、楽屋1カ所</p> <p>■本舞台利用時にショップの営業を行います。</p> <p>■横浜市内業者と協力し新しいオリジナル商品を開発します。</p>	<p>検討を行います。</p> <p>■レセプション利用問合せ（8、9、10月）、パーティー利用実施（5月、11月）、能楽師広告用撮影利用（第二舞台）（8月）、映画撮影雨天時バックアップ（12月）、日本舞踊家PV撮影（2月）、テレビ番組制作相談（2月）に対応しました。</p> <p>■サイネージ等を活用した貸館公演PRについて検討を行いました。</p> <p>オリジナル菓子「鏡板」を公演開催の記念として特別なラッピングで提供しました。</p> <p>■「初めての朝割」は4件、「応援割」は7件の利用がありました。利用実績のない「初めてのU25割」については高校等への広報を実施しました。</p> <p>■レストランスペースの貸出を有料とし、これまでの利用者の方への周知を行いました。3件の利用実績。</p> <p>□計画通り実施し、ご意見を収集しました。</p> <p>■毎回ショップ営業を行いました。</p> <p>ショップ収入 2,396千円 （昨年度3,258千円）</p> <p>公演中止のため2月後半からの売り上げがなく、減収となりました。</p> <p>■手ぬぐい「舞」の生地を使った別の商品（フラットポーチ）を検討中。マスク入れやチケット入れにも最適。また色違いの手ぬぐいも検討中</p>
--	--	---

	<p>■オリジナル生落雁「鏡板」について、季節や催しものに応じた販売強化を行います。</p> <p>□鏡板 特別バージョン販売 年2回以上</p> <p>■新てぬぐい「舞」と関連グッズの販売を強化します。</p> <p>■物販・チケット代金の支払にクレジットカード・電子マネーの取扱いを実施します。</p> <p>■フリーWiFi の提供を行います。</p> <p>□ロビー・展示廊エリア 1台 常時提供 見所エリア 2台 必要時に提供</p>	<p>です。</p> <p>■落雁「鏡板」について 天皇ご即位を祝う「大典」公演では、黄色の「菊」の型を入れ、秋には通常の紅葉の型をオレンジ色にするなど、2回実施。3月にはピンク色の「桜」の型を入れる予定であったが、公演中止のため実施できませんでした。</p> <p>■主催公演の曲に合わせた特別ディスプレイを実施しました。「横浜10大ニュース」等の景品として提供し、露出を高めました。</p> <p>■カード決済 30年度2,383千円231回利用 31年度1,712千円231回利用 2月後半から公演中止にともない、来場者数が激減しましたが、それでも昨年度と同じ利用者であるため、利用者は徐々に増えています。</p> <p>■常時提供については達成指標どおりに実施しました。</p> <p>□見所エリア2台に関しては、3/20「バリアフリー能」で字幕配信を行う予定でしたが、公演が中止となり、未実施となりました。</p>
--	--	--

(3) 組織的な施設運営の取組、職員の確保・職能、配置及び育成

<p>[目指す成果]</p> <p>専門館ならではの事業の実施、施設の堅実な運営に向けて人材を配置・育成します。</p>		
<p>[成果についての振り返り]</p>		
<p>今年度から芸術監督が配置され、企画制作を担当する職員（プロデューサー）の企画力と実務能力の向上を図りました。同じく来館促進等チームリーダー職が新設され、能楽堂に期待されている認知度向上や来館促進、インバウンドへの対応を強化しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①明確な責任体制の構築、勤務シフトの設定</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■管理運営チームリーダーが貸館と施設広報を担い、利用率達成を目</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■来館促進及び能楽堂のプレゼンス向上を目的に来館等促進チーム</p>

- ②適切な休館日の設定
- ③専門性人材の安定的確保と能力向上に対する方策の実施
- ④求める役割を果たす責任者・職員の配置
- ⑤各研修の実施

指します。

■プロデューサーとなる企画制作担当職員は、先輩後輩のペア制をとることでOJTを行います。

項目	人数	備考
館長	1	エグゼクティブプロデューサー
経営グループ長	1	管理運営1
管理運営TL	1	管理運営1 ※貸館営業担当
職員	7	企画制作4、 庶務経理1、 施設管理1、 広報営業1
補助職員	17	事務室補助1、 受付スタッフ16

- 開館日数：340日
- 施設点検休館日：年間26日

■勤務体制

【基本】館長を除きローテーションでの勤務体制

主催事業や貸館内容に応じて勤務体制を調整

- ・館長 9:30～18:15
- ・経営グループ長以下の職員

A勤務 8:45～17:30

B勤務 13:15～22:00

- ・補助職員（B1F 事務所）

A勤務 8:45～17:15

B勤務 13:30～22:00

- ・補助職員（1F 受付）

A勤務 8:50～13:50

リーダーを配置、各種割引導入、パーティー利用や撮影料金の設定及び営業等、貸館・来館促進事業を進め、目標を概ね達成しました。

■公演ごとに1事業2名体制を明確にし、OJTを実施しました。

項目	人数	備考
支配人	1	グループ長級
芸術監督	1	常勤
管理運営TL	1	管理運営1
来館促進等TL	1	貸館営業 プロモーション担当
職員	6	企画制作4、 庶務経理1、 広報営業1
補助職員	17	受付スタッフ16 施設管理1

■施設管理1名が補助職員ではありますが、新たに位置づけた管理運営チームリーダーが統括することにより業務計画通り実行しています。

- 開館日数：340日
- 施設点検休館日：年間26日

■早番、遅番の2交代制を基本として午前9時から午後10時までの開館時間を適正な出勤人数で運営しました。人員を要する主催事業や貸館状況がある際は、月1回の全体会議等で確認、シフトを調整し柔軟に対応しました。

	<p>B勤務 13:15～18:15</p> <p>□バリアフリー研修 1回</p> <p>■公文協・劇音協ほか外部セミナーの受講を推奨し、専門知識の習得に努めます。</p> <p>■財団主催研修・横浜市研修へ職員を参加させ資質向上およびスキルアップをはかります。</p> <p>■他施設で行われる公演視察により職員の企画・運営力向上をはかります。</p> <p>□調査研究のための出張 国内1カ所、海外1カ所</p>	<p>□「補助犬」をテーマにした研修を3/13に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。</p> <p>■全国公立文化施設協議会主催のマネジメント研修（3日間）に1名参加。</p> <p>■財団主催の専門人材研修（舞台芸術）に2名が参加、広報研修、契約研修に4名が参加しました。横濱ジャズプロムナード2019に1名を応援派遣しました。</p> <p>LGTBに関する市主催研修を1名受講しました。</p> <p>■国立能楽堂やKAATの公演など約40公演を視察しました。</p> <p>□国内は兵庫県篠山市および神戸市に1名出張、福井県池田町および石川県金沢市に2名出張。愛知県名古屋市および豊田市に2名出張。公演やワークショップ、美術館を視察。海外は米国ニューヨークでジャパンソサエティ主催「大典」公演に合わせて2名出張。</p>
--	---	---

(4) 本市の重要施策を踏まえた取組

<p>[目指す成果]</p> <p>横浜市の重要施策を踏まえて、真摯に取り組みます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>横浜市の重要施策を踏まえて、適切に取り組みました。また「働き方改革」に沿い、超過勤務の抑制と有休休暇の取得を促しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①個人情報保護</p> <p>②コンプライアンスの遵守</p> <p>③適正な情報公開</p> <p>④人権尊重</p> <p>⑤環境への配慮</p> <p>⑥市内中小企業優先発注</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルに則り適切に対応します。</p> <p>□個人情報取扱研修 年1回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■個人情報取扱いマニュアルを全員で共有しました。</p> <p>□4月:新配属職員対象、7月、1月:職員およびカルチャースタッフ対象、8月:新配属派遣職員対象、3月:新採用カル</p>

<p>⑦男女共同参画の推進 ⑧その他</p>	<p>■コンプライアンス委員会での情報共有を行います。</p> <p>■印刷物を中心にダブルチェックの徹底</p> <p>□全職員対象コンプライアンス研修 年1回</p> <p>□横浜市主催人権研修に職員を参加させます。</p> <p>■省エネルギー・節電・ごみ減量に取り組めます。</p> <p>□中小企業への優先発注全 発注の9割以上</p> <p>■労働時間を適切にコントロールし、超勤の抑制に努めます</p>	<p>チャースタッフ対象 計4回実施しました。</p> <p>■毎月1回のコンプライアンス委員会の資料にコメントや解説をつけて職員に供覧するとともに職員会議で説明しました。</p> <p>■印刷物は支配人まで複数名で校正しました。チラシに掲載するホームページのURLの誤記載が1件発生しました。</p> <p>□4月:新配属職員対象、7月、1月:職員およびカルチャースタッフ対象、8月:新配属派遣職員対象、3月:新採用カルチャースタッフ対象 計4回実施しました。</p> <p>□LGTBに関する市主催研修を1名受講しました。</p> <p>■施設の利用状況に合わせて不要な電気や空調を止めました。ごみ袋の有料化により利用者の方にはごみの持ち帰りや減量化への協力をお願いしました。</p> <p>□達成指標どおり実施しました。市内中小企業への発注を原則としました。</p> <p>■休日出勤、超過勤務の事前申請を徹底しました。 平均超勤時間 11.1時間/月</p>
----------------------------	--	---

3 文化事業

(1) 能楽等の継承・振興・発展に向けた次世代育成、愛好者の拡大

<p>[目指す成果] 敷居が高いと思われがちな能楽等古典芸能に関する興味や関心を広げ、理解を深めます。</p> <p>[成果についての振り返り] 毎月第2日曜恒例の「横浜狂言堂」、教育プラットフォームに参加しての学校プログラム（アウト</p>

リーチ)、教師対象の狂言講座、こども狂言ワークショップなど、古典芸能への初めの一步となる事業を開催しました。残念ながら複数の事業、ワークショップが、10月の台風接近や2月中旬以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止、延期となりました。

<p>[取組内容]</p> <p>①能楽等の古典芸能の継承、振興や発展に向けた公演、講座・ワークショップの実施</p> <p>②「クリエイティブ・インクルージョン」の趣旨を踏まえた、人種・国籍・宗教・障害の有無・性別・性的指向・年齢等に関係なくすべての人が参加できるとともに、ユニバーサル対応に向けた様々なサポート体制を整えた公演及び体験講座等の実施</p> <p>③「クリエイティブ・チルドレン」の考え方に基づく、次代を担う子どもたち、その保護者、教育関係者等を対象とした施設内での能楽等の学習・体験機会、古典芸能に触れるきっかけの提供</p> <p>④子どもたちの感性、創造性を育み、意欲を発展させることのできるプログラムや継続性のある事業の実施</p> <p>⑤市内の子どもたちに対して文化芸術に触れる機会を提供するため、「横浜市芸術教育プラットフォーム」にコーディネーターとして参画し学校プログラムを実施</p> <p>⑥能楽等の次世代の育成に向けて、若手の演じ手や公演等の作り手の積極的な登用</p> <p>⑦古典芸能の魅力を伝え、興味や関心に応じて体験することのできるワークショップや講座等の開催</p> <p>⑧愛好者の定着に向けた古典芸能に触れる際や活動にあたってのサポート・相談体制を整え、継続的</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□普及公演「横浜狂言堂」全12回(うち7月は夏の特別公演) [実施内容と達成状況]</p> <p>毎月第二日曜日開催、解説付きで2000円の料金設定により初心者だけでなく、鑑賞回数を増やしたい層にも魅力ある公演です。7月は夏の特別公演とし、こども料金を抑え、家族で来場しやすい価格設定とします。券売率90% 入場者数437人/回(12回 5,244人)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□毎月第2日曜日に実施普及公演「横浜狂言堂」(全10回) ※10/13は台風、3/14は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>・平均券売率97.8%、入場者数431人/回(10回4,314人)</p> <p>4/14: 券売率97.7%、入場者数436人、5/12: 券売率90.0%、入場者数390人、6/9: 券売率91.5%、入場者数410人、7/14: 券売率100%、入場者数416人、8/11: 券売率100%、入場者数447人、9/8: 券売率99.2%、入場者数424人、11/10: 券売率100%、入場者数443人、12/8: 券売率100%、入場者数430人、1/12: 券売率100%、入場者数457人、2/9: 券売率100%、入場者数461人</p> <p>若手からベテランまで能楽界を代表する演者が出演し、毎月第二日曜日に開催。解説付きで手ごろな価格設定により、初心者からリピーターまで、多くの方に狂言に親しんでいただける機会となりました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>会場全体を一つにしてくれる雰囲気楽しかった(5月)、テレビでしか見たことがなかったが実際の舞台は臨場感がありとても楽しめた(1月)、初めてなので理解できるか不</p>
---	---	---

<p>に技術を研鑽できる機会の提供</p>	<p>□3/20 普及公演「バリアフリー能」1回 「すべての人に能楽を」というコンセプトで、障がいのある方へのさまざまなサポートを用意し実施します。視覚障がい者・聴覚障がい者・知的障がい者向け事前見学会 各1回、公演終了後の意見交換会 1回、券売率50% 入場者数244人・介助者1名無料</p> <p>□7/14 普及公演「横浜狂言堂」(夏の特別公演) 1回 夏に親子で狂言に親しむ公演。初めて狂言を観る子どもたちでも楽しめる演目を中心に、人間国宝により狂言の面白さを伝えます。こども料金を抑え、家族で来場しやすい価格設定とします。 券売率80% 入場者数388人 こども料金500円</p> <p>□7/14 特別講座「先生のための狂言講座」1回 普及公演「横浜狂言堂」(夏の特別公演) 終了後、教科書掲載の狂言「柿山伏」を取り上げ、狂言師を講師に、国語科における狂言単元の活かし方について教師向け特別講座を</p>	<p>安でしたが解説に助けられ大変おもしろいと感じることができました。(2月)。</p> <p>□3/20 中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) ・聴覚、知的(2/15)、視覚(2/22)向け事前見学会 各1回 (参加者数:聴覚3人、知的0人、視覚17人)</p> <p>□7/14 実施 普及公演「横浜狂言堂〈こども狂言堂〉」 ・券売率100%、入場者数416人 ・小学校の国語の教科書に採用されている「柿山伏」を含む狂言2曲を、人間国宝の山本東次郎による解説付きで上演しました。 [アンケート] こども:表現力がすごいと思った。本当に木にのぼって柿を食べているみたいだった。 大人:小3の娘が理解できるか心配でしたが、とてもたのしそうに観ていました。公演後のお話も大変勉強になりました。</p> <p>□7/14 実施、参加者113人 講座での経験を授業で子どもたちに伝え、古典芸能への興味につなげることを目的とし、教師を対象に開催。今年で3回目の開催ですが、年々参加者が増加し、目標を上回りました。講座終了後に</p>
-----------------------	--	---

	<p>開催します。参加者数 50 人以上</p> <p>□7月29, 30, 31日こども狂言ワークショップ 入門編 3日間 山本東次郎家を講師に迎えて夏休みに小・中学生の子ども対象のワークショップを開催します。参加者数 20 人以上</p> <p>□1-3月こども狂言ワークショップ 卒業編 10回 入門編の参加者から希望者を募り、舞台での発表を目標としたワークショップを開催します。参加者数 5 人</p> <p>□3月22日横浜こども狂言会</p>	<p>実施した施設見学会も 60 人の参加があり、理解を深めていただきました。</p> <p>[アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「狂言」という自分にとって、あまり身近ではなかったものが、色々と話を聞き親近感をもてました。子ども達に授業を行なう時にも思いをもって話ができそうです。 ・迫力のある舞台を生で見せて頂いただけしたこと生で体験できることが何よりもよいと思った。解説も分かりやすく興味深かった。 <p>□7月29-31日実施、参加者数 7/29 25 人、7/30 23 人、7/31 24 人</p> <p><アンケート></p> <p>こども：狂言の言葉も知らなかったですが、柿山伏を見て面白いのと、話の内容がよくわかりました。今年、私は学校で狂言をやるので、このワークショップがすごく楽しかったし、おもしろかったです。</p> <p>大人：キリッとした空気感のなかで、いつもとはちがう舞台、動き、発声が体感出来て良かったです。普段感じることがない“伝統”というものにふれられて、子供も感じるものがあったようです。</p> <p>□稽古 10 回 内、実施 6 回 (1/14、22、30、2/5、13、25)、中止 4 回 (3/3、10、16、18)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者数 9 人</p> <p>□中止 (新型コロナウイルス</p>
--	---	---

	<p>1回 こども狂言ワークショップでの稽古の成果を、OB・OG組織である「いろはの会」メンバーと一緒に本舞台上で披露します。こども狂言ワークショップ卒業編からの参加者5人、いろはの会の参加者含め15人 入場者数100人</p> <p>□「横浜市芸術教育プラットフォーム」学校プログラム 狂言・古典芸能を軸にコーディネートを行います。5校実施</p> <p>■通常の公演企画を通じて実力ある若手の演じ手を起用していきます。</p> <p>□4-8月講座「初めての能楽教室」 お稽古の機会が得にくい能楽教室を、主に大人の初心者を対象に開催します。開催時期を季節の良い4月開始とし、夜のお稽古に参加しやすくします。謡・仕舞12人、小鼓12人、大鼓12人 合計36人</p> <p>■横浜能楽堂主催ワークショップの修了者が継続的な稽古を支援するため、施設利用料の減免制度「応援割」を実施します。</p>	<p>感染症拡大防止のため)</p> <p>□5校実施 11/5 東品濃小、11/6 石川小、11/28 義務教育学校西金沢学園、12/2 南本宿小(以上、狂言) 12/10, 11, 13 本牧南小(和太鼓)</p> <p>■10/14 特別公演「蠟燭能」では、能の大曲「姨捨」の三役に大日方寛、竹市学らを起用しました。普及公演でも若手の演じ手を起用しました。</p> <p>□4-8月「謡 仕舞」「小鼓」「大鼓」各10回の稽古を実施 謡・仕舞21人、小鼓12人、大鼓12人の合計45人が参加し、目標を上回りました。 8/10に三教室合同発表会を開催しました。</p> <p>■ワークショップ参加者に案内チラシを配布し、8回(5団体)の利用がありました。</p>
--	--	--

(2) 能、狂言その他の古典芸能の振興・発展

<p>[目指す成果] 全国の能楽ファンを魅了するような企画性・創造性に富んだ質の高い公演を行います。 発信力のある古典芸能分野での国際交流事業を実施します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p>

人間国宝・山本東次郎が選んだ十二曲を上演した企画公演「東次郎 家伝十二番」は、第十二回が中止となったものの、山本東次郎をはじめとする東次郎家一門の充実した舞台に、観客からの反響も大きかったです。特別企画公演「大典 奉祝の芸能」は、新天皇即位という慶事に際し、琉球舞踊や邦楽、能狂言の中から皇室縁の曲や祝儀曲を上演。能「大典」は11月にニューヨークのジャパン・ソサエティでも上演され、現地の観客から好評を得ました。

<p>[取組内容]</p> <p>①本舞台・第二舞台を活用した公演等の開催</p> <p>②能・狂言等の継承性と創造性のバランスに配慮しつつ、横浜能楽堂独自の創造的な公演や古典芸能の多彩な公演の実施</p> <p>③能楽等の鑑賞者を広げ、愛好者の定着を図るため、能及び狂言等の基本知識や曲の見どころ・背景などを分かりやすく伝える等の創意工夫を凝らした公演の定期開催</p> <p>④文化専門施設として蓄積した高度かつ専門的なノウハウを発揮し、横浜や横浜能楽堂ならではの発信性ある魅力的な公演・事業等の実施</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。ワークショップ2講座4回以上、申込率80%、参加人数12人/回</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを開催しました。7講座15回※2/21の1回は中止（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）、申込率92%、参加人数22人/回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/11 浴衣ワークショップ&狂言鑑賞会1回、申込率50%、参加者数10人（定員20人） ・11/3 芸術監督が案内する横浜能楽堂見学と能楽のイロハ2回、申込率70%、参加者数70人（26/44人、定員各回50人） ・12/17 ミニ箒作り体験と横浜能楽堂見学2回、申込率105%、参加者数36人（21/15人、定員各回20人） ・1/17 能楽師(狂言方)が案内する横浜能楽堂見学と狂言ワークショップ3回、申込率94%、参加者数60人（19/24/17人、定員20/25/20人） ・2/1 能楽師(シテ方)が案内する横浜能楽堂見学と能楽ワークショップ3回、申込率118%、参加者数70人（25/26/2人、定員各回20/25/20人） ・2/21 一閑張り作り体験と横浜能楽堂見学2回、申込率113%、参加者数20人（定員20人）、 ・2/7、14、21 おとな狂言ワ
--	---	--

	<p>□6/2、7/20 特別企画公演「大典」 新天皇即位にちなみ、古典芸能の中から皇室縁の曲や祝儀曲を集めた公演を2日にわたり開催します。1日目は、天皇陛下が琉歌の形式で詠まれた御製を歌詞として作られた2曲を中心とした琉球舞踊、2日目は、大正天皇の即位を祝して作られた能「大典」をはじめ、邦楽と能楽の祝儀曲を上演します。券売率80% 入場者数388人/回 (2回776人)</p> <p>□12/22 普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」1回 能楽初心者が退屈せずに楽しめる曲を選び、解説付きで開催します。券売率80%/入場者数388人</p>	<p>ークショップ3回29人 □6/2、7/20 実施 特別企画公演「大典 奉祝の芸能」 券売率100%(2公演とも完売)、入場者数880人(6/2442人、7/20 438人) 新天皇即位という慶事に際し、琉球舞踊や邦楽、能狂言の中から皇室縁の曲や祝儀曲を2日にわたり上演しました。両日とも、若手から「人間国宝」を始めとしたベテランまで、現代の古典芸能を代表する顔ぶれが揃い、各芸能の魅力を堪能できるプログラムとなりました。第1日は、秋篠宮皇嗣妃殿下、眞子内親王殿下がお成り、第2日は秋篠宮皇嗣妃殿下がお成りになりました。 [アンケート] 沖縄の芸能をおごそかなカタチで知る事ができた。 記念すべき年に「大典」を見られたことが何よりでした。 演者の方々の真剣さが伝わって感激でした。</p> <p>□12/22 実施 普及公演「眠くならずに楽しめる能の名曲」券売率100%/入場者数418人 能の人気曲「羽衣」と、出演者数が多く華やかな狂言「業平餅」を、能楽初心者向けの解説つきで上演しました。能の一般的なイメージを覆す「眠くならない」というキャッチフレーズにより、チケットが発売後すぐに完売するなど、能楽初心者から愛好家</p>
--	---	--

	<p>□4-3 月 企画公演「東次郎家伝十二番」(全 12 回) 人間国宝・山本東次郎が家に伝わる芸の中から十二番を選び、4 月から 3 月にかけて、毎月東次郎自身の出演で上演します。 券売率 75% 入場者数 364 人/回 (全 12 回 4,368 人)</p>	<p>まで幅広い関心を集め、能楽の魅力を広い層に伝える機会となりました。 〔アンケート〕 能に興味があり一度見たいと思っていました。トークも分かりやすく、業平餅、羽衣面白かったです！ 思っていた以上に内容が理解でき、生の臨場感もあって楽しめました。</p> <p>□4-2 月 企画公演「東次郎家伝十二番」(全 11 回) ※3/1 (12 回) 中止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 券売率 97.9%、入場者数 424 人/回 (11 回 4,668 人) 4/20 第 1 回：券売率 100%、入場者数 461 人、5/25 第 2 回：券売率 97.4%、入場者数 429 人、6/22 第 3 回：券売率 100%、入場者数 435 人、7/27 第 4 回：券売率 100%、入場者数 468 人、8/18 第 5 回：券売率 100%、入場者数 434 人、9/22 第 6 回：券売率 100%、入場者数 437 人、10/26 第 7 回：券売率 92.5%、入場者数 396 人、11/30 第 8 回：券売率 98.7%、入場者数 424 人、12/14 第 9 回：券売率 87.9%、入場者数 351 人、1/13 第 10 回：券売率 100%、入場者数 429 人、2/8 第 11 回：券売率 100%、入場者数 404 人 ・人間国宝・山本東次郎が選ぶ渾身の 12 曲を 1 年かけて上演するという企画。東次郎自身が今演じたい曲、また若手に今演じてほしい曲、伝え</p>
--	--	---

	<p>□4/27 企画公演「史上空前の狂言会—30人超 VS たった1人」1回</p> <p>約200曲ある狂言の現行曲のうち、最多人数（30人以上）が登場する「唐相撲」と、最少人数のたった一人きりで演じ切る「独り松茸」を同時に上演します。</p> <p>券売率80% 入場者数388人</p>	<p>たい曲という観点で選定したラインナップであり、観客も通しで鑑賞したいという意欲が高まったようで、セット券の売上も伸び、継続して来場する顧客が増え、目標を上回りました。毎回プログラムに東次郎筆による「なぜこの曲を選んだのか」を掲載したところ、非常に好評で、より狂言の面白さが分かった、演者ならではのエピソードが分かり嬉しいといった声が上がりました。狂言の新たな面白さの発見や興味・関心を深める公演となりました。</p> <p>[アンケート]</p> <p>東次郎の気迫あふれる演技に圧倒された（第1回）、東次郎師の解説、なぜこの曲を選んだのかをたよりに鑑賞しています。ネットでの解説とは一味もふた味も異なる。東次郎師の解説はおもしろさをふくらませてくれます（7回）、次世代を育てようとする東次郎丈の心とそれをしっかり受け止めようとする若い人たちの心が伝わってすばらしい（第9回）</p> <p>□4/27 実施 券売率100%、入場者数477人</p> <p>現行曲のうち、最多人数の大曲「唐相撲」と復曲された一人狂言「独り松茸」を、最大人数差という切り口で配曲し、上演しました。見どころの多い曲を分かりやすく取り上げたことで、券売は好調となり早々に完売しました。</p>
--	---	--

	<p>□10/14 特別公演1回 10月14日満月の夜に、「三老女」に分類され、難易度が高いとされる「姨捨」を、観世流の重鎮・浅見真州が舞います。ワキ方・囃子方・狂言方には若手能楽師を起用します。 券売率80% 入場者数388人</p>	<p>また、初めての来場者数率が29%と高く、新たな顧客の開拓につながった公演となりました。</p> <p>[アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも狂言は見ているが今回は今までになく多人数での公演で興味があった。サブタイトルも魅力的で大変楽しかったです。 ・たった1人と30人と対比させることでどちらの面白みも際立つ。 ・茂山家総出演で見応えがあった。全く異色(体験したことのない)の狂言に驚いた。 <p>□10/14 実施 特別公演「蠟燭能」券売率100%、入場者数455人</p> <p>三老女の内の一曲である能「姨捨」を浅見真州が演じました。蠟燭の灯りで上演されることで、満月の姨捨山という曲の設定がより際立つ舞台となりました。また、三役に若手を配することで若手の育成にも寄与しました。</p> <p>野村萬のシテによる「空腕」とともに、能楽の魅力を存分に伝えられる内容の公演となりました。</p> <p>[アンケート]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初の蠟燭能でしたが、幻想的で幽玄の世界へ一気に連れて行ってもらいました。まるで月明かりの下で鑑賞しているようで素敵でした。 ・とても良い企画でした。狂言も楽しかった。これからも期待しています。冷房が少し
--	--	---

		寒かった。
--	--	-------

(3) 能楽堂自体の魅力の発信

<p>[目指す成果] 和の文化施設として今までにない能楽堂の魅力発信し認知度の向上をはかります。</p> <p>[成果についての振り返り] 日本文化の魅力を能楽堂という特別な空間で紹介する様々なワークショップを開催しました。能楽や古典芸能以外の生活文化やものづくりに関わる講座（着付け、箒づくりなど）の開催で、間口を広げ、敷居を下げることで、初来館者を招き入れることにつながりました。</p>		
<p>[取組内容] ①貸館営業、広報営業担当の人員配置 ②能舞台の文化的価値や日本の伝統文化の発信、おもてなしの拠点となる文化プログラムやユニークベニュー等の企画、多言語対応を含む受入を行うことによる、横浜や横浜能楽堂の魅力や認知度の向上 ③観光・宿泊プラン、国際会議等、MICE と連携し、アフターコンベンション等への施設提供</p>	<p>[達成指標] □MICE 関連展示会視察 1 回以上 □提案可能な日本文化体験プログラムの作成 1 本 □提案可能な公演鑑賞パッケージの作成 1 本 □公演または文化体験プログラムのリリース 1 本以上 □大規模合コン「街コン」又は「大人コン」開催 1 回以上</p>	<p>[実施内容と達成状況] □1 回 「第1回横浜グローバルMICE フォーラム」(2 月)の社交プログラム会場(横浜みなとみらいホール)を視察しました。 □4 本 能楽師が案内する見学と能楽ワークショップ(シテ方、狂言方各1講座)、ミニ箒・一閑張り作り体験(各1講座)を三菱地所レジデンスクラブに提案しました。 □1 本 ・「着付ワークショップ&狂言鑑賞会」着付終了後、浴衣で横浜狂言堂を鑑賞するワークショップをハクビ(株)と連携して開催しました。 □4 本 能楽師が案内する見学と能楽ワークショップ(シテ方、狂言方各1講座)、ミニ箒・一閑張り作り体験(各1講座)を三菱地所レジデンスクラブに各1回ずつの買取りが確定しました。 □MMcc へのイベント提供を2回(横浜狂言堂12月44名、2月36名)実施しました。</p>

	<p>□近隣ホテルとのお食事付チケットプラン 1公演</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを、第二舞台を会場に開催します。ワークショップ2講座4回以上 申込率80%、参加人数12人/回(再掲)</p> <p>■英語接客が可能なスタッフが「ENGLISH OK!」バッチ着用</p> <p>■その他言語の対応可能なスタッフが「◎◎ OK!」バッチ着用</p> <p>■能・狂言の英文解説をすべての演目で用意します</p> <p>■館内サインのピクトグラム化の検討</p> <p>■インターネットチケットサイトの英語版を提供</p> <p>■(公財)横浜観光コンベンションビューローとの情報共有によるプロモーションの推進</p> <p>(人員配置については、2(3)のとおり)</p>	<p>「街コン」は主催者都合で現在は実施されていません。</p> <p>□未実施。今後もホテルとの連携を図っていきます。</p> <p>□施設見学会付の和のワークショップを開催しました。6講座12回※2/21の1回は中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)、申込率92%、参加人数22人/回</p> <p>■年間を通じてバッチを着用し海外からのお客様に対応しました。</p> <p>■英語、ポルトガル語、ギリシャ語のバッチを着用しました。</p> <p>■すべての演目で英文解説を用意しました。</p> <p>■達成指標どおり実施しました。</p> <p>■達成指標どおり実施しました。</p> <p>■ラグビーワールドカッププレスツアー(10月)、JNTO主催インド市場キーパーソン招へい事業による見学(11月)を実施しました。</p>
--	--	--

(4) 能楽等に関する地域等との連携事業

<p>[目指す成果]</p> <p>地域との連携を密にし、能楽堂の地域文化資源としての魅力をPRします。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>横浜能楽連盟との共催公演、児童・生徒の見学会のサポート、施設見学会などこれまで取り組んできた事業に加え、新たに「伝統文化1日オープンデー」、紅葉坂の5つの文化施設による連携事業「紅葉坂まいらん」を開始し、地域の方や親子連れなど新たな層への働きかけを行いました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①国際文化交流拠点としての役割期待を踏まえた地域、地元企業等との連携、能楽等の振興に</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□6/29 第67回横浜能楽1回</p> <p>横浜能楽連盟と共催し、横浜</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□6/29実施「第67回横浜能楽」券売率100% 入場者数453人</p>

<p>資する活動の実施</p> <p>②能楽師を中心とした演者、能楽等の団体・他の能楽堂や能楽等を支える伝統工芸に関わる作家や企業、愛好者の団体等との幅広いネットワークの形成</p> <p>③学生等をはじめとした職場訪問・職業体験やインターンシップ等の受入、専門知識を習得している段階の学生や市民ボランティア等、地域と連携し、愛好者や人材の育成支援</p> <p>④近隣小学校への能、狂言の学習サポート</p> <p>⑤地域住民への公演告知等による能楽堂や古典芸能に触れる機会の提供</p> <p>⑥施設見学会の開催</p> <p>⑦地域の古典芸能振興として、実演家・地域企業・関連団体と連携・ハブを担う、能の公演の開催</p> <p>⑧近隣団体との協働事業への参加、近隣施設との協力</p> <p>⑨横浜市内在住外国人への広報</p>	<p>ゆかりの能楽師による能「隅田川」を上演します。</p> <p>券売率85% 入場者数412人</p> <p>□中・高校生の職場体験受入 2校</p> <p>□小・中・高校の見学・学習サポート 3校</p> <p>□小・中学校校長会での見学会の案内 1回</p> <p>■児童・生徒向け見学パンフレットの用意</p> <p>■11/未定「第36回横浜かもんやま能」1回</p> <p>ふるさと西区推進委員会、西区役所との共催し、事業運営・広報協力を行います</p> <p>□2/29 神奈川県立歴史博物館提携企画公演「井伊直弼の作った能と狂言」 1回</p> <p>神奈川県立歴史博物館が主催する特別展「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜(仮)」と連携し、展示期間中に井伊直弼に縁のある能楽</p>	<p>・横浜能楽連盟との共催により、横浜ゆかりの能楽師による能「隅田川」を上演し、目標を上回りました。</p> <p>□職場体験は要請がありませんでした。</p> <p>2019年3月～8月 アテネ国立大学演劇学部の学生インターンシップ(1名)を受け入れました。</p> <p>□6校</p> <p>5/23 横須賀市立北下浦中学校 8人、8/9 横浜平沼高等学校 9名、10/30 横浜市立本町小学校 6人、11/12 横浜市立小山台小学校 44人、11/13 横浜市立並木中央小学校 53人、11/13 横浜市立八景小学校 13人、11/25 横浜市立東汲沢小学校 94人(キャンセル)</p> <p>□校長会での案内は未実施です。</p> <p>■イラスト付きのパンフレットを準備し、提供しました。</p> <p>■11/24 開催</p> <p>「第36回横浜かもんやま能」入場者数468人</p> <p>狂言「因幡堂」、能「三輪」を上演。広報協力、チケット販売代行、当日進行を担いました。</p> <p>2/29 公演中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)</p> <p>・神奈川県立歴史博物館では、2/8～3/22まで特別展「掃部山銅像建立110年 井伊直弼と横浜」が開催(3/4～3/22は休館)され、2/16には、芸</p>
--	---	--

	<p>を上演します。 券売率80% 入場者数388人</p> <p>□施設見学会 月1回開催 年間12回以上実施 うち3回をスペシャル企画として、地域のにぎわいに貢献します。また、ラグビーワールドカップ2019開催期間に合わせ、多言語対応の施設見学会を行います。参加者数各回15人以上</p> <p>□能楽堂1日オープンデーの開催 1回/年 能楽体験、和の工作等を館内各所で実施し無料で開放します。また、通訳ボランティアとの連携等により、インバウンドの取り込みを図ります。</p> <p>□近隣住民へのちらし配布 2回/年（利用案内含む）</p> <p>■WEBページ、Twitterの多言語化を実現します。</p> <p>□みなとみらい21「さくらフ</p>	<p>術監督・中村雅之による特別展記念講演会「井伊直弼と能・狂言」が開催されました。</p> <p>□施設見学会を12回開催しました。日程と参加者数4/11 10人、5/9 4人、6/13 11人、7/11 5人、8/24 57人、9/12 4人、10/10 121人、10/30 19人、11/14 5人、12/12 2人、1/9 9人、2/1 33人※3/28は中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)、うち8/24(虫の音スペシャル)、10/10(秋の特別見学会)はスペシャル企画として、地域のにぎわいを創出し、10/30(メディアツアー)はラグビーワールドカップ2019開催期間に合わせた多言語対応の施設見学会を行いました。</p> <p>□伝統文化1日オープンデーを開催しました。 ・8/16 仕舞鑑賞、箏曲体験、小鼓体験、舞台とバックヤードツアー、けん玉・ベーゴマ・わらべうたと遊ぼう、和紙で作る風船ランプシェード、一閑張りで作る渋うちわのプログラムを実施しました。来館者数585人</p> <p>□近隣マンションへチラシを配布しました。3回/年(合計209枚)</p> <p>■Twitterは3月から毎日日本語と英語で能楽堂周辺情報を発信する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、休止しました。</p> <p>□2019年3/23-3/31 参加</p>
--	--	---

	<p>ェスタ 2019」への参加</p> <p><input type="checkbox"/> 「野毛まちなかキャンパス」実行委員会との協働</p> <p><input type="checkbox"/> みなとみらい 21「かもめスクール」との協働</p> <p><input type="checkbox"/> 西区町歩き企画への協賛・共催 1回以上</p> <p>■紅葉ヶ丘エリアの5館連携について、館長会に参加し協働を検討します。</p> <p><input type="checkbox"/> 英文の施設紹介ちらしを再作成します。1種類</p>	<p>2020年3/20～3/29は中止。</p> <p><input type="checkbox"/> 10/25実施 参加者数35人</p> <p><input type="checkbox"/> MMccとの協働に変更し、イベント提供を2回実施しました。</p> <p><input type="checkbox"/> 4回</p> <p>さくらフェスタ 2019 スタンプラリー(3月)、シティガイドによるウォーキングガイドの見学会場(8月)、ハマのウォーキングフェスティバル参加賞提供(12月)、西区商店街スタンプラリー提供(2月)</p> <p>■5館長会議(7月、9月)、5館連携担当者会議(14回)、紅葉ヶ丘連携事業「紅葉ヶ丘まいらん」(10月)広報連携を中心にスタンプラリー実施(一部台風のため中止)</p> <p><input type="checkbox"/> 英文パンフレットと英文舞台解説を更新しました。</p>
--	--	--

(5) 情報提供及び渉外、広報・プロモーション活動

<p>[目指す成果]</p> <p>情報発信、提供を積極的に行い、横浜能楽堂や古典芸能の認知度を高めます。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>ホームページ、SNSを活用した広報に加え、プレスリリースも着実に実施しました。「大典 奉祝の芸能」や「東次郎家伝十二番」のような企画性が高い公演は、新聞や雑誌でインタビューや特集が組まれるなど広報実績が出ています。友の会組織「かもん会」は会員数の減少が続きました。今後の会員組織の在り方について考える必要があります。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①施設の紹介</p> <p>②公演、事業の紹介</p> <p>③横浜能楽堂友の会「かもん会」の運営</p> <p>④業務計画書等の公開</p> <p>⑤マスコミ等を中心とした幅広</p>	<p>[達成指標]</p> <p><input type="checkbox"/> WEB ページアクセス数</p> <p>トップページ：10,000/月</p> <p>ページビュー：49,000/月</p> <p><input type="checkbox"/> Twitter フォロワー数：2,400人</p> <p><input type="checkbox"/> 年間スケジュール：10,000</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p><input type="checkbox"/> WEB ページアクセス数</p> <p>トップページ：12,730/月</p> <p>ページビュー：90,927/月</p> <p><input type="checkbox"/> Twitter フォロワー数：2,586人</p> <p><input type="checkbox"/> 年間スケジュール：10,000</p>

<p>いプロモーションの実施</p> <p>⑥能楽関連の情報、資料の開示</p> <p>⑦公演・講座記録として開館以来の公演等の記録を整理し、「横浜能楽堂アーカイブ」構築の検討</p>	<p>部</p> <p>□3か月の行事予定「橋がかり」：毎月10,000部</p> <p>□横浜能楽堂友の会「かもん会」会員数：目標 800人</p> <p>□広報資料送付： 新聞・雑誌・テレビ等のマスコミ約100社</p> <p>□新聞、雑誌の掲載：年間24本</p> <p>□ニコニコ動画に代わるインターネットによる広報手法の実施</p> <p>■1F 書架の閲覧についてWEBで周知します。</p> <p>■電話やメールでの問い合わせに対して迅速に回答します。（日本語、英語）</p> <p>■「横浜能楽堂アーカイブ」について、前年度に作成したリストに基づき着手します。</p>	<p>部発行しました。</p> <p>□今年度から紙面を大きく取り、2か月の行事予定掲載に変更しました。毎月10,000部発行しました。</p> <p>□会員数：目標698人（2月末現在）</p> <p>□広報資料送付：計画通り100社に送付しました。</p> <p>□新聞、雑誌掲載：年間61本、インタビュー記事など。</p> <p>□昨年度に引き続き、YouTube アカウントを運営しています。</p> <p>■未実施。能面の写真集など見ごたえのある書籍もあるため、今後活用を検討していきます。</p> <p>■WEB ページにお問い合わせフォームを掲載し、質問やご意見を受け付けています。全職員が確認できるようになっており、担当者から迅速に回答しています。英語での問い合わせ（見学会への参加、チケット購入方法など）にも適切に回答しています。</p> <p>■開館以来の公演収録映像のリスト化、公演チラシのデータ化を実施しました。</p>
--	--	--

(6) 館内展示及び収蔵品の管理の実施

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、適切に実施します。</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に基づき、適切に実施しました。特別展「山本藤次郎家の装束展」は公演鑑賞の楽しみと相まって、好評でした。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①常設展の開催</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□常設展開催 年2回以上、</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□2回(4/1-12/1, 2/10-3/31)</p>

<p>②特別展の開催 ③収蔵品の管理 ④展示の和文・英文表記の充実</p>	<p>観覧者数 4,500 人 □特別展「山本東次郎家の狂言面と装束（仮称）」開催 1 回、観覧者数 3,000 人</p> <p>■常設展・特別展の英文表記の実施 ■収蔵品を適切に管理します。</p>	<p>観覧者数 5,264 人 □特別展「山本東次郎家の装束展」（12/8-2/9） 観覧者数 4,533 人 企画公演「東次郎家伝十二番」第 9 回-第 11 回の期間中に実施。実際に公演で使用した装束を中心に展示し、演能写真パネルや解説を掲示、配布したところ、分かりやすく、企画と併せて楽しめると非常に好評でした。企画公演の券売にもつながりました。</p> <p>■計画通り実施しました。 ■装束や能面等の収蔵品を適切に管理しました。 ・2/17 収蔵庫のパッケージエアコンの更新を実施しました（工事主体:横浜市）</p>
---	---	---

(7) その他文化事業に関する取組

<p>[目指す成果] 能楽関係者、専門家、他分野アーティストとの連携を通して、新たな古典芸能の可能性を目指しました。</p> <p>[成果についての振り返り] 横浜能楽堂で培ったノウハウを他団体へ提供するなど、長年の取り組みを社会に広げることができました。能楽堂以外の場所での上演依頼にも対応し、古典芸能の魅力の発信につながりました。</p>		
<p>[取組内容] ① 外部専門家（能楽関係者、研究者、文化団体、大学等）との協力体制・連携</p>	<p>[達成指標] □能楽協会主催「ESSENCE 能～バリアフリー対応～」への協力 □ジャパン・ソサエティー連携「大典」NY 公演</p>	<p>[実施内容と達成状況] □7/31 に開催された能楽協会主催「ESSENCE 能～バリアフリー対応」にバリアフリー能で行っている障がい者向けのサポートのノウハウを提供しました。 □11/14～16 に開催された、ジャパン・ソサエティー主催「大典」ニューヨーク公演について制作協力を行いました。3 日間で 3 公演が行われ</p>

		<p>712 人が来場しました。</p> <p>□4/12 に開催された横浜美術館開館 30 周年記念「Meet the Collectionーアートと人と、美術館」のオープニングで、尺八の演奏を企画制作しました。</p> <p>□11/2、10 に開催されたクリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会主催「NIGHT SYNC YOKOHAMA」スペシャルパフォーマンスの企画制作を行いました。新港中央広場特設ステージの映像演出を能舞台とし、仕舞（「羽衣」、「熊坂」）を上演。みなとみらい周辺地域と連携した先進的なイルミネーションと古典芸能のコラボレーションによる、新しい舞台芸術を創造しました。</p>
--	--	---

4 収支計画及び指定管理料

(1) 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え方

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、適切に運用します</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、適切に運用しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>①適切な料金設定</p> <p>②利用状況に合わせた支払方法</p> <p>③条例及び施行規則に基づく減免等の運用</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■学校鑑賞会利用における半額減免の導入</p> <p>■児童、生徒、学生の見学会の全額減免</p> <p>□減免についてのマニュアルの作成 (料金設定・支払方法等は、2 (1) のとおり)</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■計画どおり実施しました。利用実績 3 件、申請受付 1 件</p> <p>■計画どおり実施しました。利用実績件 <u>6 件</u></p> <p>□貸館運用マニュアルの中に減免について申請処理マニュアルを作成しました。</p>

(2) 指定管理料のみに依存しない収入構造

<p>[取組内容]</p> <p>①自主事業収入・利用料金収入の安定的な確保</p> <p>②助成金、寄付金の確実な獲得</p> <p>③協賛金収入の獲得</p> <p>④利用料金収入の安定的な確保</p> <p>⑤貸館における友の会会報へのちらし封入サービス、主催公演パンフレットへのちらしはさみこみサービス等の提供</p> <p>⑥貸館公演におけるチケット作成代行、販売代行サービス等の提供</p> <p>⑦撮影料金の設定</p> <p>⑧オリジナル商品の開発及び販売</p> <p>⑨事業収支の健全性の基準設定及びそれに基づく適切な計画</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□利用料金収入 16,400 千円</p> <p>□日本芸術文化振興会等の助成金獲得 16,145 千円</p> <p>□協賛金収入の獲得 1,000 千円</p> <p>■貸館の手引きにより、ちらし封入サービス、チケット作成、販売代行的の有料サービスの提供の周知を図ります。</p> <p>■撮影料金を設定します。</p> <p>■オリジナルショップ商品開発を検討します。</p> <p>■限られた経営資源を適切に配分するとともに外部資金を積極的に導入することで経営を安定化し、施設で収支バランスをとれる状態とします。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□利用料金収入 14,684 千円</p> <p>□日本芸術文化振興会等の助成金獲得 13,984 千円 (決定額)</p> <p>□協賛金収入 50 千円、寄付金収入 50 千円</p> <p>■計画どおり実施しました。チケット作成 3 件、販売代行 2 件、チラシ封入サービス 23 件を行いました。</p> <p>■撮影利用料金の運用を行いました。</p> <p>■新商品発売には至りませんでした。雨天時に要望の多い傘の販売を開始しました。</p> <p>■経費節減をはかるとともに、助成金獲得により収支均衡を目指しました。</p>
---	---	---

(3) 経費削減等効率的運営の努力

<p>[目指す成果]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を目指します</p> <p>[成果についての振り返り]</p> <p>業務の基準に従い、効率的な運営と経費削減を図りました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>① 発注・事務処理、施設・設備管理等の留意による経費削減等効率的運営の努力</p> <p>② 適切な人材配置及び超過勤務の削減及び職員のワークライフバランスを図ること等による人件費削減の努力</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■ちらし作成枚数の精査、不要不急の支出の抑制を行います。</p> <p>■業務の効率化に努め、超勤時間のコントロールを行います。</p>	<p>■公演ごとの部数を精査して作成しました。支出についても案件ごとに必要性を検討し抑制に努めました。</p> <p>■11.1 時間/月</p>

5 P D C Aサイクルの確実な運用

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日報及び月間業務報告書の作成・管理 ・ 業務計画書及び業務報告書の作成・管理 ・ 業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施） 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 遺漏ない作成を行います。 ■ 遅滞なく業務評価を実施します。 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 遺漏なく作成しました。 ■ 遅滞なく業務評価を実施しました。
--	---	--

6 留意事項

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保険及び損害賠償の取扱い ・ 関係法令等の遵守 ・ 市及び関係機関等との連絡調整 ・ 近隣対策の実施 ・ その他 	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関係法令等を遵守します。 ■ 業務の基準に従って適切に行います。 	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 関係法令等を遵守し運営しました。 ■ 業務の基準に従って適切に行いました。
--	---	---

平成31年度 「横浜能楽堂」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 E= (D-A)	説明
指定管理料	177,736,000		177,736,000	177,736,000	0	横浜市より
利用料金収入	16,400,000		16,400,000	14,684,030	△ 1,715,970	
自主事業収入	47,887,000		47,887,000	46,084,883	△ 1,802,117	
横浜市費用負担	0		0	5,754,000	5,754,000	新型コロナウイルス感染症に関する横浜市の費用負担分
雑入	27,934,000	0	27,934,000	16,170,451	△ 11,763,549	
印刷代	0		0		0	
その他（コピー代、炭代）	523,000		523,000	239,319	△ 283,681	
その他（開催協力金・助成金）	26,161,000		26,161,000	15,580,886	△ 10,580,114	文化庁助成金、事業開催負担金等
その他（企業協賛金、寄付金）	1,000,000		1,000,000	100,000	△ 900,000	
収入合計	269,957,000	0	269,957,000	260,429,364	△ 9,527,636	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	89,156,000	0	89,156,000	82,814,661	△ 6,341,339	
給与・賃金	73,340,000		73,340,000	68,683,113	△ 4,656,887	臨時職員16名給与含
社会保険料	9,562,000		9,562,000	8,670,613	△ 891,387	
通勤手当	2,639,000		2,639,000	2,228,946	△ 410,054	
健康診断費	134,000		134,000	126,121	△ 7,879	
退職給付引当金繰入額	3,481,000		3,481,000	3,105,868	△ 375,132	実配置対応額
事務費	8,035,000	0	8,035,000	7,857,553	△ 177,447	
旅費	484,000		484,000	413,764	△ 70,236	
消耗品費	1,117,000		1,117,000	1,720,670	603,670	見所管球交換等による増
広告宣伝費	949,000		949,000	931,340	△ 17,660	
印刷製本費	343,000		343,000	358,766	15,766	
通信費	2,074,000		2,074,000	1,896,871	△ 177,129	
使用料及び賃借料	9,000	0	9,000	9,064	64	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	79,617	79,617	
負担金、会費	31,000		31,000	0	△ 31,000	
施設賠償責任保険	111,000		111,000	65,210	△ 45,790	
職員等研修費	0		0	6,500	6,500	
振込手数料	606,000		606,000	610,816	4,816	
リース料	1,742,000		1,742,000	1,262,361	△ 479,639	PCリース時期変更による減
手数料	418,000		418,000	284,157	△ 133,843	
雑支出	151,000		151,000	218,417	67,417	授章祝花/祝電増
事業費	82,982,000	0	82,982,000	72,998,842	△ 9,983,158	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費			0		0	
自主事業費	82,982,000		82,982,000	72,998,842	△ 9,983,158	公演中止等による減
管理費	67,268,000	0	67,268,000	66,422,270	△ 845,730	
光熱水費	14,778,000	0	14,778,000	12,941,199	△ 1,836,801	
電気料金	9,231,000		9,231,000	8,254,343	△ 976,657	利用量減、単価低下
ガス料金	3,985,000		3,985,000	3,236,077	△ 748,923	
水道料金	1,562,000		1,562,000	1,450,779	△ 111,221	
清掃費	0		0	0	0	設備保全費に含む
修繕費	3,078,000		3,078,000	2,001,859	△ 1,076,141	一部その他保全費にて支出
機械警備費	0		0	0	0	設備保全費に含む
設備保全費	49,412,000	0	49,412,000	51,479,212	2,067,212	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
消防設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
電気設備保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	その他保全費に含む
駐車場設備保全費	262,000		262,000	261,600	△ 400	
その他保全費	49,150,000		49,150,000	51,217,612	2,067,612	建物総合保守、清掃警備委託、舞台操作委託費を含む
共益費	0		0	0	0	
公租公課	6,129,000	0	6,129,000	8,217,947	2,088,947	
事業所税			0	0	0	
消費税	6,071,000		6,071,000	8,155,000	2,084,000	
印紙税	42,000		42,000	44,200	2,200	
その他（ ）	16,000		16,000	18,747	2,747	法人税、電波使用料
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	16,387,000	0	16,387,000	16,387,000	0	
本部分	16,387,000		16,387,000	16,387,000	0	(平成30年度予算額-事務局繰入金) × 7%
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	269,957,000	0	269,957,000	254,698,273	△ 15,258,727	
差引	0	0	0	5,731,091	5,731,091	